



草津あおばなってなあに？

あおばなの歴史とこれから





あおばなの歴史 (1)

万葉から江戸時代にかけて



茜草指 武良前野
野守者布見哉 君之袖布流
額田王 卷一ノ二〇



あおばな (オオボウシバナ)

3~4cm



青花: ツユクサの栽培変種、
オオボウシバナ
学名 *Coommelina communis*
L.var.hortensisMakino



ツユクサ

草津にあおばなが来たのは？



あおばなが、草津で

栽培されるようになったのは、

なぜでしょうか？



万葉のころ



大化の改新 天智天皇 大津京

近江の国には、唐・新羅の連合軍に攻め込まれた朝鮮の百済から、多くの人々が 移り住み、大陸文化が入ってきました。

ツユクサを題材にした歌が、「万葉集」に見られる

鮮やかな「青色」が、水に溶けて流れやすいことから「心変わり」の意味を込めて「ツユクサ」「青花」「月草」を歌っていた。





草津に根付いたあおばな

人々は色鮮やかな衣服をまとい、多くの植物が染料として使われました。

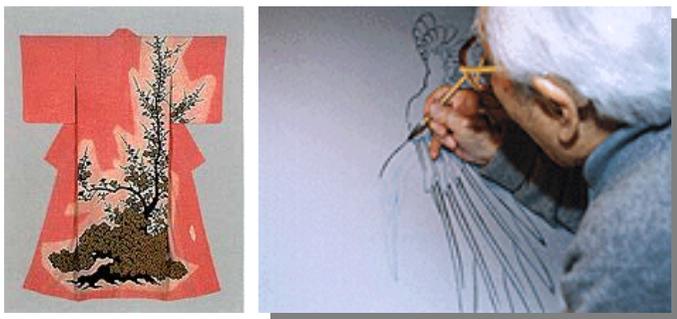
ツユクサの花弁は青色や藍色に染めるのに利用され、その頃に草津で栽培が始まったといわれています。

利用しやすいように、花びらの大きなものを選び、人の手で作られた選抜品種として、育てられたと思われます。



友禅染の発祥

江戸時代前期に友禅染が京都の宮崎友禅斎によってはじまりました。



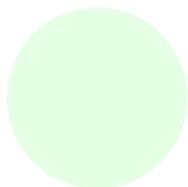
「あおばな」は、色が鮮やかで、水に溶けやすく、友禅染の下絵を書くのに、都合がいいので友禅染の普及とともに栽培が進みました。



江戸時代

江戸時代中期には、たびたび飢饉や大水害が起りましたが、

草津の「青花紙」は、人々の暮らしを支えたと言われています。



あおばな栽培(1)



「草津あおばな」の栽培には手間と時間がかかります。
もともとツユクサの変種である「草津あおばな」は、
人手をかけずに栽培していくと野生に戻ってしまいます。

栽培農家では、人の手で、愛情を込めて栽培し、種を守ってきました。



あおばな栽培(2)

発芽率が良くないため、毎年3月ごろ、一旦別の場所に種を巻き、育った苗を畑に移して育てます。畑は前の年に堆肥を施し、周囲に水路を作って管理します。



栽培作業は一家総出で行うもので、その苦労は計り知れないものでした。



あおばなの花摘み



「草津あおばな」の花びらの収穫は7月から8月ごろにかけて、一番あつい時期に行われます。

朝早く午前5時ごろから咲きはじめ、昼頃にしぼんでしまうため、咲いている間に花粉やサギといわれるメシベやオシベがつかないように、花びらだけを手作業で1枚1枚集めます。





青花液

花は毎日咲きますから、全く休みはなく、
「もうやめたい」と何度も思うので、
地獄花とも呼ばれました。

この汁をしぼり青花液を作りますが、花粉やサギが
混じると品質を大きく落とします。



青花紙の作り方(1)



摘みとった花は両手の指で何回も揉むと青い汁が出てきます。

厚手の布に包んで絞り、また揉んで絞るということを繰り返します。

たまった青花液は、ハケで美濃紙に染み込ませます。



青花紙の作り方(2)



100枚1束の美濃紙を4枚ずつに分けて12組(48枚)作り、これを単位として表裏を染めていきます。染めた紙は天日乾燥させます。

雨にあたるとすべて流れ落ちるので夕立に気を付け、染めては干すという作業を70~80回繰り返します。



100枚100gであった紙が400gになるまで染め続けます。

青花紙の作り方(3)



朝摘んだ花はその日に絞り、花汁はその日のうちに染めてしまわないと美しく仕上がりません。

こうして苦勞の末に出来た青花紙は、高い値段で取引されました。





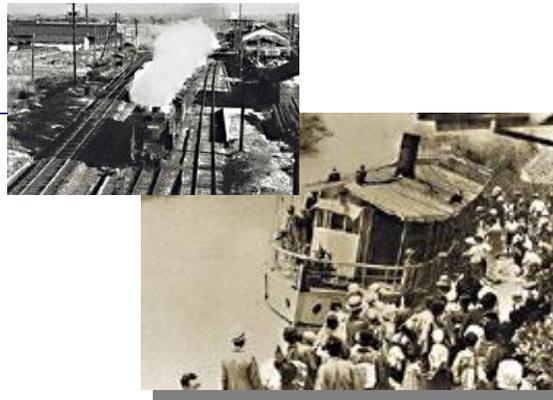
あおばなの歴史 (2)

最盛期から現在



最盛期

大正から昭和初期にかけて、青花紙の品質
を検査する組合も設立され、「草津あおばな」
栽培は盛んになりました。



大正7年ごろには栽培面積約8ヘクタール、
農家約五百戸で約五千束の青花紙を作り、
その売り上げを蓄えて数年で家を建てる
人も出たと記録に残っています



戦後の混乱期、「草津あおばな」栽培が地域の
経済を支えました。

高度成長の影で

しかし、高度成長を迎え、化学染料の登場や
着物を着る人の減少などで、「草津あおばな」
の栽培はしだいに少なくなっていました。



絶滅の危機

農業の近代化の中で、手間のかかる「草津あおばな」は、ついに絶滅の危機にまでになったのです。



草津市の花に



その中で「草津あおばな」は、わずかに残った栽培農家の努力と愛好者の応援で、昭和56年に草津市の「市の花」に指定されました。



現在

現在は、わずかの栽培農家が「あおばな」を守っています

草津市上笠の中村繁男さん宅では、現在も「あおばな」を栽培しておられます。

中村さんは、「江戸時代から染料に使われたあおばなの歴史を絶やすことなく、後世に伝えていきたい」と語っておられます。



さて、このような草津あおばなに、
最近になり、新しい役割が・・・



発見された2つの成分

DNJ DMDP



草野源次郎先生

大阪薬科大学の草野源次郎元教授が「草津あおばな」(オオボウシバナ)に糖質分解酵素「 α -グルコシダーゼ」を阻害する成分であるDNJ(デオキシノジリマイシン)とDMDP(ジヒドロキシメチルジヒドロキシピロジン)が含まれている事が突き止めました。



DNJ DMDP

発見された効果

この2つの成分は、

小腸における糖質吸収をおだやかにし

特に食後に見られる血糖値の上昇を

緩やかにする 効果を示すことが分かっています。



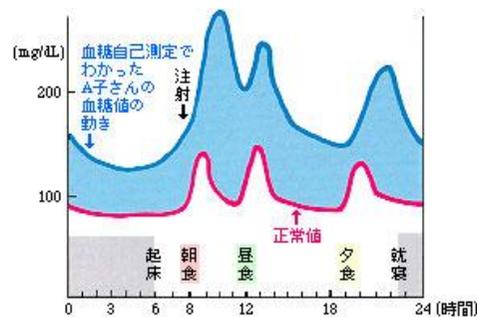
ダイエットに！血糖値が気になる方に



豆知識

血糖値ってなんだろう？

「血糖値」というのは、
血液中のブドウ糖濃度のことで、
血液1デシリットルあたりのブドウ糖の量を
ミリグラムで表します。

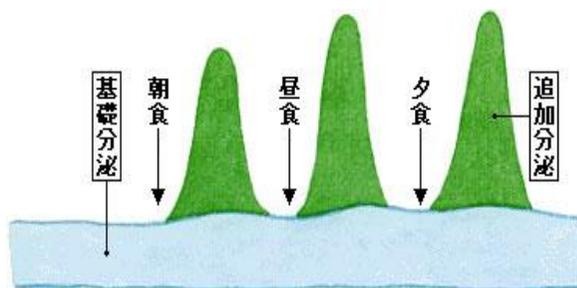


健康な人の空腹時の血糖値は110 (mg/dL) 以下と
いわれています。

豆知識

食後に上昇する血糖値

食事のあとには、糖の吸収にともなって、
血液中の血糖値が上がります。



通常、食事をして血液中のブドウ糖の量が増えると、
タイミングよくインスリンが追加されます。

豆知識

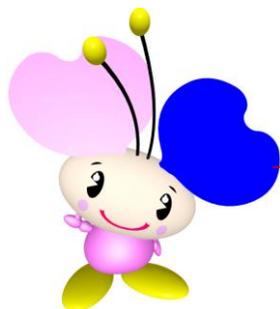
高血糖

このインスリンの分泌量が少ないか、
インスリンの働きが悪くなると、
血糖をコントロールすることができなくなり
高血糖の状態になります。



草津あおばなに含まれる成分が、新しい健康物語をつくります。





草津あおばなの 新しい役割

「草津あおばな」は
いつも混乱期や経済の不安定な時代に人々を
支える役割をしているように感じられます



混迷の時代と草津あおばな

草津市の産業発展期を支えた「草津あおばな」が、
一つの時代とともに役割を終え、
今まさに時代の変化にあわせるように
新しい役割を担って再登場してきました。



新しい「草津あおばな」が担う役割

健康

最近、食生活の見直しや
市民の健康意識も大変高まっています



あおばなは粉末加工ができ、
お茶をはじめ、ソバ、ケーキ、チョコレートなどに
粉末を混ぜて、ご家庭での料理の活用から
食用製品への活用も計画されています。



3世代をつなぐ役割も担う草津あおばな

染料のあおばなを知る世代、健康に役立つ「あおばな」を取り入れる働き盛りの世代、そしてあおばなの体験学習などで触れ合う子供たちの世代と、3世代の皆さんを結びつける役割も担うことでしょう。

世代を
つなぐ





草津市の活性化に



歴史

染物



地域
活性

世代を
つなぐ

健康



食品・料理



体験学習



草津あおばな会



伝統と新しい「草津あおばな」を普及発展することを目的に、
草津あおばな会があります。

みなさまとともに、「草津あおばな」を盛り上げていきたいと
思っております。



草津あおばなってなあに？

【参考資料・協力】

国立万国博記念資料館・国会図書館・農林水産省地域振興課
日本生活習慣病予防協会・大阪産業創造館
滋賀県教育委員会・京都府立総合資料館・滋賀県近代美術館
草津市教育委員会・草津宿街道交流館・「中神コレクション」
草津市観光物産協会・草津市役所・大津市役所
読売新聞大阪本社・日本経済新聞社・京都新聞社
京都メディアステーション・株式会社ミュエーム「和の学校」
日本工芸会・株式会社資生堂・東北電力広報地域広報部
株式会社スピルリナ研究所・株式会社プレセア
株式会社ヘルス研究所・株式会社アムコ
大阪薬科大学元教授草野源次郎先生・中村繁男氏

制作・編集 株式会社ウィードプランニング

Copyright (C) 2003 weedplanning.co.ltd, all rights reserved.